

スーパーサイエンス・ハイスクール実施レポート

日時：平成 28 年 7 月 27 日（水）9：00～12：00

見学者：大阪府立豊中等高等学校 16 名

対応：徳山、山口、氏家、藤内、松崎



<内容>

9：00～10：00

[講義] 「地球環境大変動-海（海洋コア）から解き明かす地球の営み-」（徳山）@セミナー室



10：00～10：25

[施設見学]（松崎）

- ・ B棟水密扉
- ・ エントランス（ちきゅう模型等）、コアロギング室（非破壊計測装置）
- ・ A棟第1コア保管庫（冷蔵4℃・冷凍-20℃）
- ・ 実験棟内一周



10:30~11:10

11:15~11:55

[実習] 2グループ構成・各8名40分交代

①「世界の砂（微化石）の実体顕微鏡観察」@微化石画像処理室（山口）

津波堆積物の理解を目当てとして、砂の入ったビーカーをかき混ぜて、ビーカー中心部と周辺部の砂を観察する。中心部と周辺部の流速の違いで堆積する砂の粒径が異なることを実体顕微鏡観察で確認し、津波堆積物は通常の堆積物と異なることが推察できた。



②「地層を変形させる：砂箱実験」@サンプリング室（氏家、藤内）

地層の変形についての講義後、砂箱実験を行った。異なる砂を重ねて層を作った砂箱で、側面に加圧する実験と底面を引っ張る実験で、砂層（＝模擬地層）がどう変わるかを観察し、地層の変形に対する理解を深め、砂の粒径の影響等を考察した。

